

安保法 今年夏の成立可能性

統幕長「訪米時認識あつた」

陸海空自衛隊の一体運用を担う統幕僚監部（統幕）の河野克俊幕僚長は三日の記者会見で、自身が昨年十二月の訪米時に、安全保障関連法案が今夏までに

成立するとの見通しを米軍首脳に伝えたと国会で共産党議員から指摘されたことについて「資料は確認中でコメントは控える」とした。ただ「今年の（通常国会で）与党が成立を目指し、可能性が高いとの認識を持ったのは確かだ」と述べた。

河野氏の訪米時の発言は、二日の安保関連法案に関する参院特別委員会で共産党の仁比聡平氏が提示した資料に記載されていた。河野氏が昨年十二月十七日の米陸軍参謀総長との会談で発言した内容などが記されている。当時は安保法案に関する国会審議だけでなく、法案作成に向けた自民、公明両党の与党協議さえ始まっていなかった。

河野氏は会見で、資料が存在するか問われ「防衛省内で確認中だ」と繰り返し述べた。資料の確認作業が終わるのは「近日中」との見方を示した。法案審議の過程で内部資料などの外部流出が明らかになっており、河野氏は「組織としてゆゆしき事態だ」と述べた。

法案への反対集会

首相「受け止める」

安倍晋三首相は三日の参院厚生労働委員会で、安全保障関連法案に反対する大規模な集会が国会周辺などで開かれたことについて

「国民の二つの声として真摯に受け止めていきたい」と述べた。

同時に「今回の法案は国民の命と平和な暮らしを守るために必要不可欠だ。しっかりと国民に丁寧な説明を重ねたい」と強調した。社民党の福島瑞穂氏への答弁。